

環境レポート

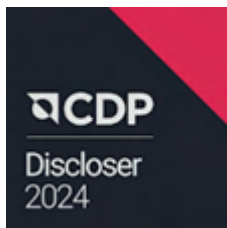
ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 28

フジシールグループ CDP2024 結果と フジシールグループの気候変動取り組み

フジシールグループ(以下、「当社」)では、気候変動・海洋プラスチック問題(生物多様性)・資源枯渇を重要課題として位置付け、製品・サービスを通じて環境に貢献し、製造時における負担低減に向けて取り組んでいます。当レポートでは、CDP2024年度の結果と気候変動取り組みについて紹介します。

■ CDP 2024



2024年度もCDPによる評価を受けました。CDP2024評価結果と温室効果ガス削減取り組みについてご紹介します。

当社は、CDP2024「気候変動」・「水」において、マネジメントレベル「B」評価を獲得しました。



CLIMATE CHANGE
2024



WATER SECURITY
2024



FOREST
2024

CDP とは…

CDPは2000年に英国で設立したNGOであり、投資家・企業・都市・国家・地域が環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営。その情報開示システムは、8,000社以上からの回答を受け、650社を超える投資機関や115社以上の大手購買企業が活用する影響力の高いデータの一つとして知られています。右図のように4レベル、8段階(A~D-)で評価されます。



A~A
リーダーシップ

B~B
マネジメント

C~C
認識

D~D
情報開示

環境問題を
どのように
解決しようと
しているか

環境問題による
リスクや影響を
管理しているか

環境問題が自社に
どのような影響を
与えるか

現状の把握

【CDP Web サイト(英文)】
<https://www.cdp.net/>

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 28

フジシールグループ

CDP2024 結果と
フジシールグループの気候変動取り組み

■ 気候変動に向けた取組 ～ TCFD 提言に基づく開示 ～

当社は2021年7月にTCFD提言への賛同を表明したことを皮切りに、CDPでの開示のみならず、気候変動に向けた取組について当社Webサイトでの開示強化を進めてきました。Web開示内容をコンパクトにまとめた簡易版として当社の気候変動開示内容をご紹介します。詳細はWebサイト並びにCDPレポートにてご確認ください。

[当社Webサイト](#) [ESG DATA BOOK2024](#) [環境レポート](#) [CDP 2024レポート](#)

◇ 気候関連問題のガバナンス

リージョンサステナビリティ委員会やFSIサステナビリティ分科会を経て、グループサステナビリティ委員会(執行役会議)で議論後、取締役会にて審議の上目標の承認や進捗状況を確認しています。

◇ 気候関連問題のについての戦略とリスク管理

・ 戦略

機会獲得に向けた各種投資を行うと共に、リスク低減に向けたGHG削減取組を進めています。

・ リスク管理

独自のリスクマップを作成し、取締役会で議論しています。シナリオ分析(1.5℃・2℃:気候変動対応社会、4℃:気候変動が進む社会)も併用して、当社を取り巻く状況の把握に努めています。

・ リスクの特定

- ・炭素税による支出増大(長期)
- ・非財務情報開示不足による評判低下(中期)
- ・異常気象による被災・供給不能(短期)

・ 機会の特定

- ・包材と機械のシステムソリューションの開発・提供による低炭素製品需要への対応
- ・低GHG排出に寄与する輸送効率の良い製品の開発・提供によるリソースの効率化
- ・低炭素社会実現のためのリサイクル関連取組による新市場開拓

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 28

フジシールグループ

CDP2024 結果と フジシールグループの気候変動取り組み

◇ 気候変動に関する全社目標



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2023年12月に2030年度をターゲットとする絶対値目標を新たに設定しました。この当社のGHG排出削減目標(Scope1&2)は、SBTiの審査により、「1.5℃水準」に整合することが確認され、短期目標での認定を受けています。

スコープ1&2：2030年度までに温室効果ガス排出量を2022年度基準で42%削減

スコープ3：2030年度までに温室効果ガス排出量を2022年度基準で25%削減

◇ 進捗状況

<2022年度GHG排出量(基準年)> Scope1+Scope2:190,000 tCO₂
Scope3:1,650,000 tCO₂

<2023 年度 GHG 排出量> Scope1+Scope2:180,000 tCO₂(4%削減)
Scope3:1,450,000 tCO₂(12%削減)

■ お客様とのエンゲージメントプログラムへの参加

当社は、二酸化炭素排出量の削減に取り組むグローバルブランドとサプライヤーのコラボレーションプログラムである「サプライヤー・リーダーシップ・オン・クライメート・トランジション(Supplier Leadership on Climate Transition、以下「サプライヤーLOCT」)」に参加しました。サプライヤーLOCTは、温室効果ガス排出量の測定と報告、科学的根拠に基づく目標の設定に関するガイダンスを提供するオンライン学習プラットフォームであり、お客様の目指す方向とそのための手法を学ぶのに役立つプログラムです。本社並びに各リージョンの環境責任者がこのプログラムを受講し、学んだことを全社および各リージョンの取組に活かしています。プログラム修了の証として、「CDP Disclosure*」バッジを取得しました。



*「CDP Disclosure」は、5段階のプログラム1:Create(GHG算定)、2:Set(SBTi認定取得)、3:Build(GHG削減計画作成)、4:Disclosure(CDP開示)、5:Implement(実行)の内1~4を習得したことを示すものです。

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 28

フジシールグループ

CDP2024 結果と
フジシールグループの気候変動取り組み

■ その他の環境関連評価

◇ EcoVadis 2024

当社は、EcoVadis社* 評価対象の企業の上位15%に授与される銀メダルを獲得しました。これは、同社の持続可能性管理システムの品質を反映し、バリューチェーン全体で透明性を促進する取組を行っていることを示しています。非財務開示に関する法令対応を多くの企業が進める中、FSGとして事業影響・社会への影響を見極め、適切な開示対応を進めていきます。



* EcoVadis: フランスに拠点を置くサプライヤー企業の持続可能性を評価・モニタリングする第三者機関です。独立した信頼性の高い共同プラットフォームを運用し、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続的な資材調達」の4分野で包括的に評価しています。